

(ご参考)

全銀ネット有識者会議
2020年1月10日



【S-ZEDI】受取企業様向け利用ガイド

【目次】

1.はじめに

2.S-ZEDIの情報項目（18項目）について

3.お困りごとの解消例

例① 複数の請求を合算して振込・入金された内訳を知りたい

例② 当月分と翌月分の請求を合算して振込・入金された内訳を知りたい

例③-1 請求額の一部が振込・入金された内訳を知りたい

例③-2 請求額が一部が振込・入金された理由を知りたい

例④ 請求書の宛先と支払人が一致しない場合の請求先企業名を知りたい

例⑤ 請求書の金額と振込・入金された金額の差異が振込手数料であることを知りたい

例⑥ 請求書のコロから減額された振込・入金のコロ・内訳を知りたい

例⑦ 複数税率が混在する場合の税率の内訳を知りたい

例⑧ 支払元の問合せ先を知りたい

(ご参考) S-ZEDI18項目と解消例のマッピング

4.S-ZEDI利用に向けた留意事項

(ご参考) 金融EDI情報として格納すべき商流情報の整理について

(ご参考) 振込電文 (XMLファイル) 簡易作成機能 S-ZEDI (チラシ)

(ご参考) 経理業務の効率化 (リーフレット)

1. はじめに

全銀EDIシステム（以下、「ZEDI」という。）は、2018年12月25日に稼動いたしました。

利用企業の皆さまがZEDIをご利用いただき、売掛金の消込などの経理業務の効率化等の効果を十分に得るためには、支払企業および受取企業間でのEDI情報の相互運用性の確保、すなわち、授受する金融EDI情報の項目等についてあらかじめ取り決めておくことが重要になります。

一般社団法人全国銀行資金決済ネットワーク（全銀ネット）においては、企業様の利便性を考慮した、汎用的な金融EDI情報標準として、「S-ZEDI」※を策定しております。

本ガイドでは、S-ZEDIの情報項目（18項目）およびその活用方法についてご案内いたしますので、ご参照いただき、受取企業様における消込効率化にご活用いただけますと幸いです。

※S-ZEDIは、WEBブラウザ上の画面入力により、金融EDI情報を添付可能な振込電文（XMLファイル）を簡易に作成可能とする機能です（無料）。専用ソフトの購入や会計システムの改修といった対応なしに、総合振込ファイルを作成することができ、ZEDIの導入コストを軽減します。

2. S-ZEDIの情報項目（18項目）について（1/2）

S-ZEDIで策定した情報項目は、下記の18項目となります。

「金融EDIにおける商流情報等のあり方検討会議（※1）」において整理された40項目（※2）をベースとし、企業の入力負荷軽減のため項目数を絞りつつ、消込業務に必要な項目を整理しています。

S-ZEDI（18項目）

あり方検討会議において整理された項目
（12項目）

消費増税・軽減税率対応を
考慮して追加した項目
（5項目）

管理上利用する項目	最低限必要な項目	IT化推進による事務合理化に必要と思われる項目	利用可能とすべき項目	S-ZEDIとして個別に追加した項目
業界区分	支払通知番号	受取人企業法人コード	金額相殺理由コード	税額1
データ区分	支払通知発行日	請求先企業名	相殺金額	税率1
	請求書番号（入力推奨）	請求先企業法人コード		税額2
	支払人企業法人コード（入力推奨）	支払金額（明細）		税率2
				税額（合計）
				備考

事業所情報や商品コード等、多様な項目を
補記可能とするために追加した項目
（1項目）

※1：金融EDIに記載する商流情報の標準化を目的に2016年度に開催。経済産業省、中小企業庁および産業界がメンバーとなり標準化の検討を実施。

※2：「（参考）金融EDI情報として格納すべき商流情報の整理について」（16ページ）参照

2. S-ZEDIの情報項目（18項目）について（2/2）

S-ZEDIの各情報項目の定義内容は下表のとおりとなります。

#	情報項目名	定義内容
1	業界区分	Z01（業界ごとのEDI標準を判別するための区分）
2	データ区分	001（業界区分ごとに、手続き内容を判別するための区分）
3	支払通知番号	支払通知書に付与された番号・発行日を入力してください。支払通知書がない場合は入力不要です。
4	支払通知発行日	
5	請求書番号（入力推奨）	請求書に付与された番号を入力してください。
6	支払人企業法人コード（入力推奨）	支払人企業の法人番号を入力してください。代行会社による振込等、請求先と実際の支払人が異なる場合、実際の支払人企業（代行会社等）の法人番号となります。
7	受取人企業法人コード	受取人企業の法人番号を入力してください。
8	請求先企業名	請求先企業（請求書の宛先企業）の企業名・法人番号を設定してください。代行会社による振込等、請求先と実際の支払人が異なる場合、実際の支払人企業（代行会社等）ではなく請求先企業の企業名・法人番号となります。
9	請求先企業法人コード	
10	支払金額（明細）	請求書単位の支払金額を入力してください。金額相殺や一部支払を行う場合、実際の支払金額となります。
11	金額相殺理由	手数料の控除等で請求金額と支払金額に差額が発生する場合の理由を入力してください。
12	相殺金額	金額相殺理由に記載した理由において発生した、請求金額と支払金額の差額を入力してください。
13	税額 1	消費増税や軽減税率の導入に伴い、複数税率を併記する必要がある場合に利用します。 適用する税率・税額を入力してください。
14	税率 1	
15	税額 2	
16	税率 2	
17	税額（合計）	税額 1、税額 2 の合計金額を入力してください。
18	備考	上記項目以外で必要な情報を任意に入力可能です。

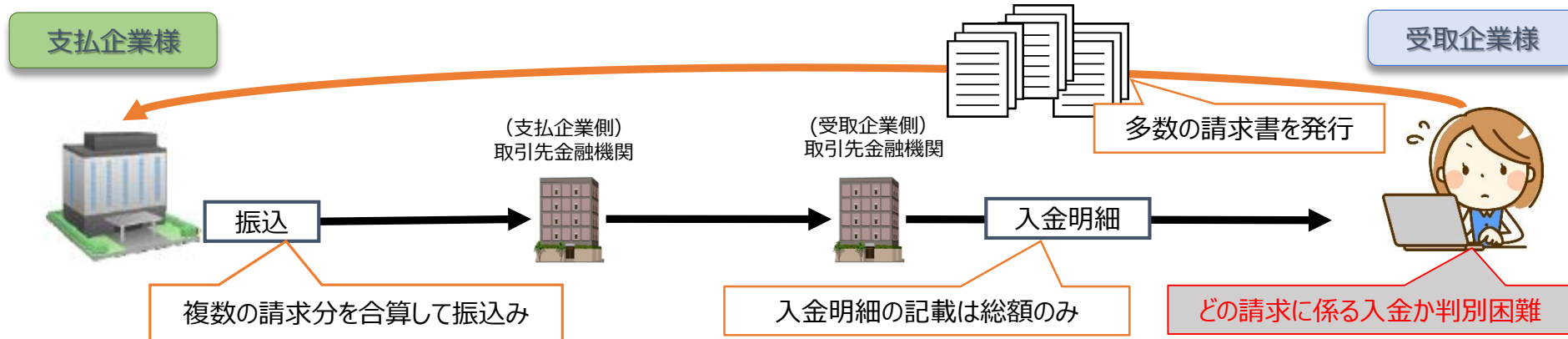
3. お困りごとの解消例



例① 複数の請求を合算して振込・入金された内訳を知りたい

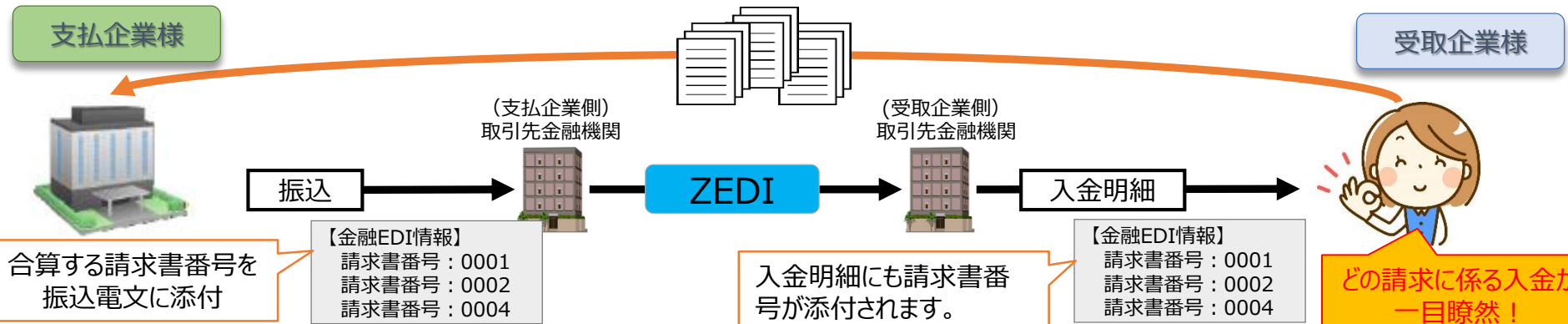
受取企業様のお困りごと

- 締め日等のまとめ合算振込により、入金額がどの請求に関するものであるかの判別が困難。



S-ZEDI活用による解消例

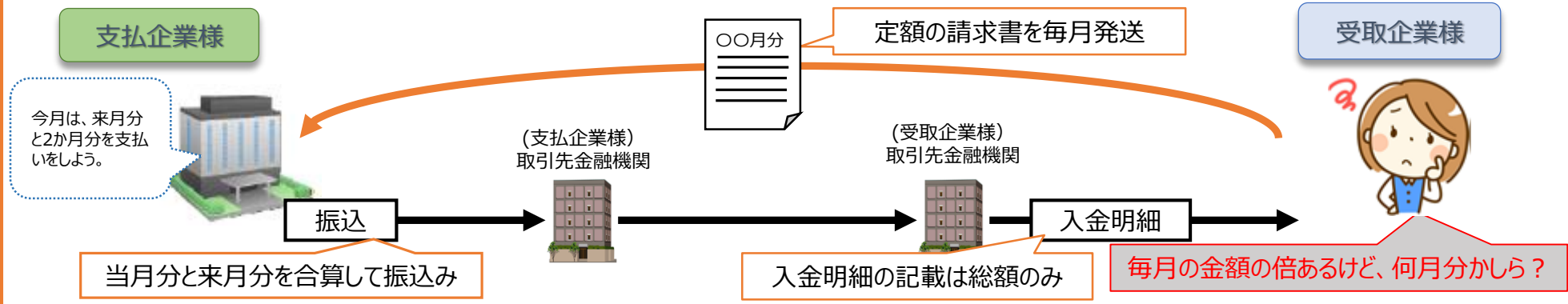
- S-ZEDIの項目「請求書番号」に、個々の請求書番号を入力してもらうことで、合算振込に含まれる請求書がわかります。



例② 当月分と翌月分の請求を合算して振込・入金された内訳を知りたい

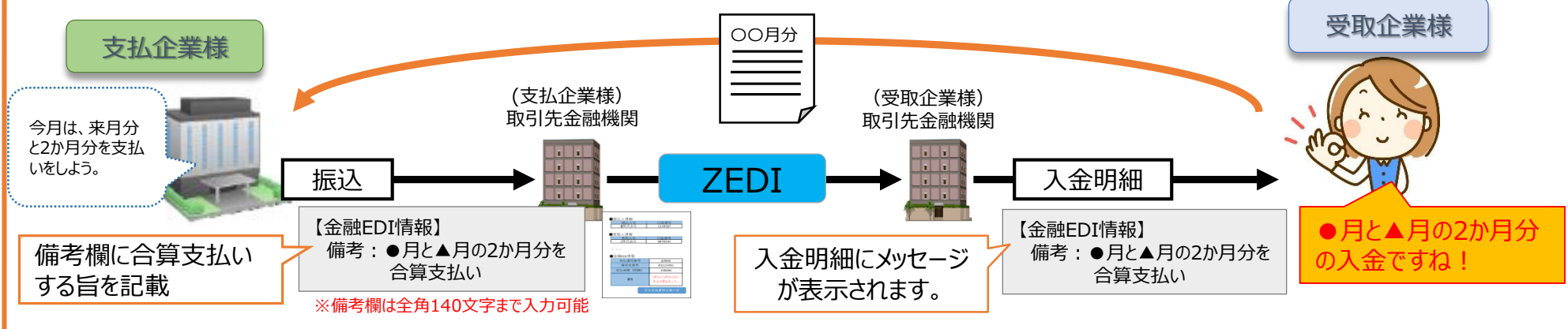
受取企業様のお困りごと

- 定期的な取引など翌月分の請求が確定している場合、当月分と翌月分を合算して支払うケースがあり、請求金額と振込金額が合致しない。



S-ZEDI活用による解消例

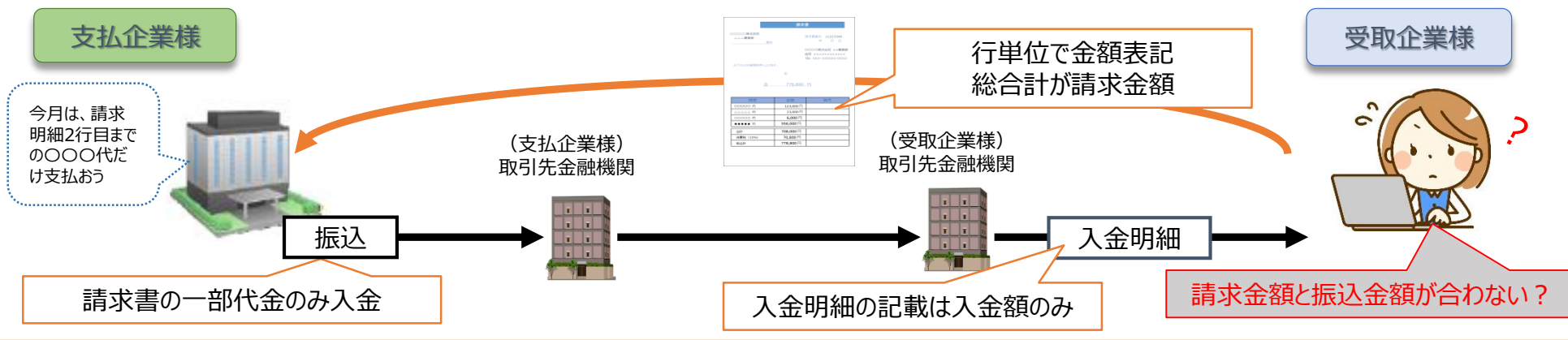
- S-ZEDIの項目「備考」に、翌月分を含めている旨を記入してもらうことで、内訳がわかります。また翌月分の入金については、前受金として適正に仕訳することが可能となります。



例③-1 請求額の一部が振込・入金された内訳を知りたい

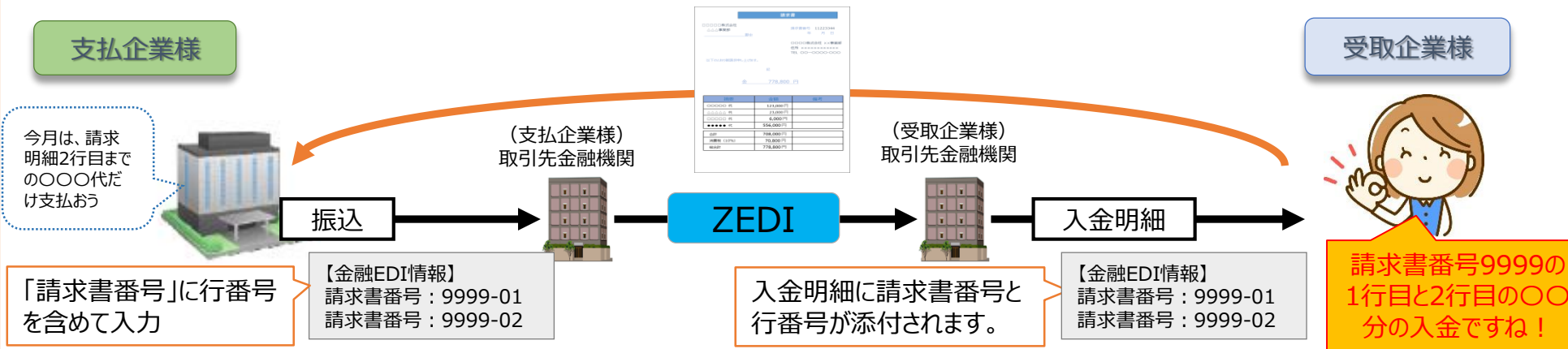
受取企業様のお困りごと

- 請求書の行単位での一部支払いにより、請求金額（総額）と振込金額が合致しない。



S-ZEDI活用による解消例

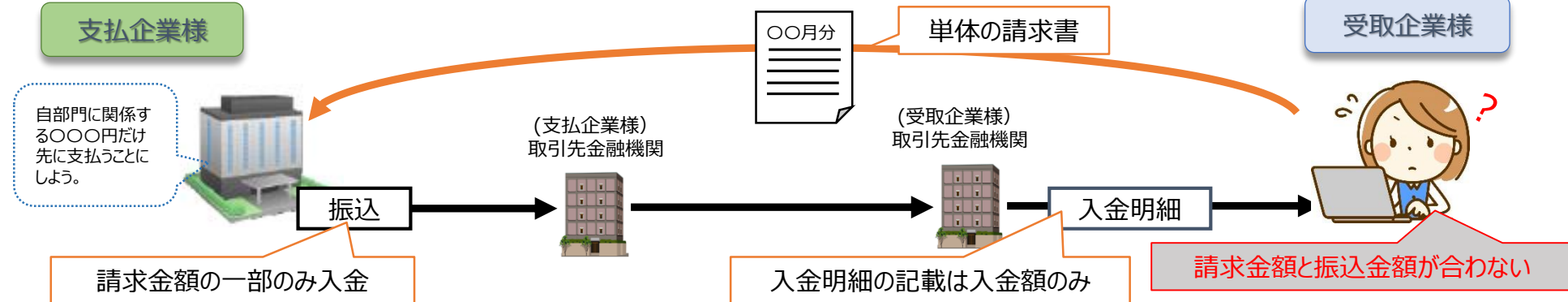
- 請求書番号に加え、支払いする行番号を含めて入力してもらうことで、請求書の一部支払いであることがわかります。



例③-2 請求額が一部が振込・入金された理由を知りたい

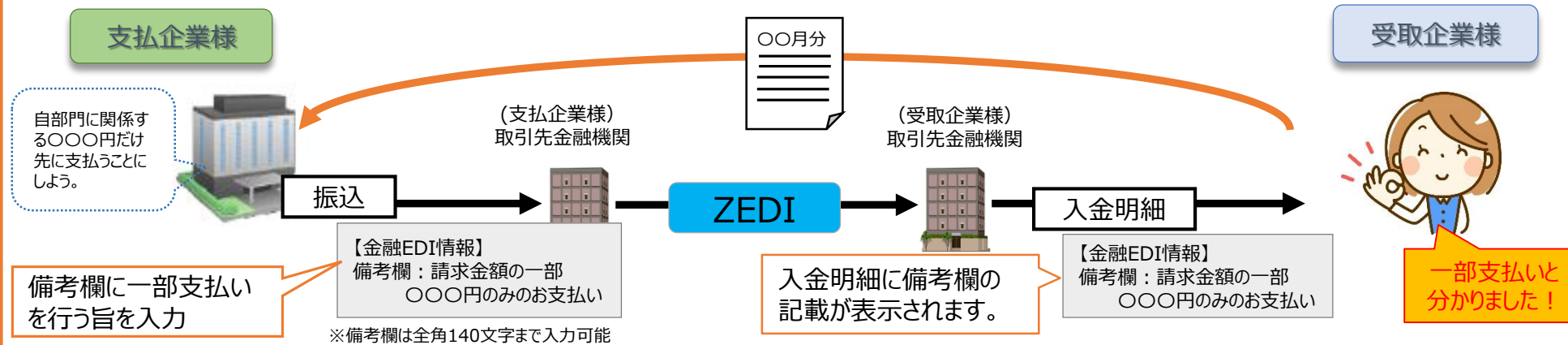
受取企業様のお困りごと

- 請求額の一部支払いにより、請求金額と振込金額が合致しない。(半手半金(※)も本ケースに該当します)
※半分は現金、半分は手形による支払い方法



S-ZEDI活用による解消例

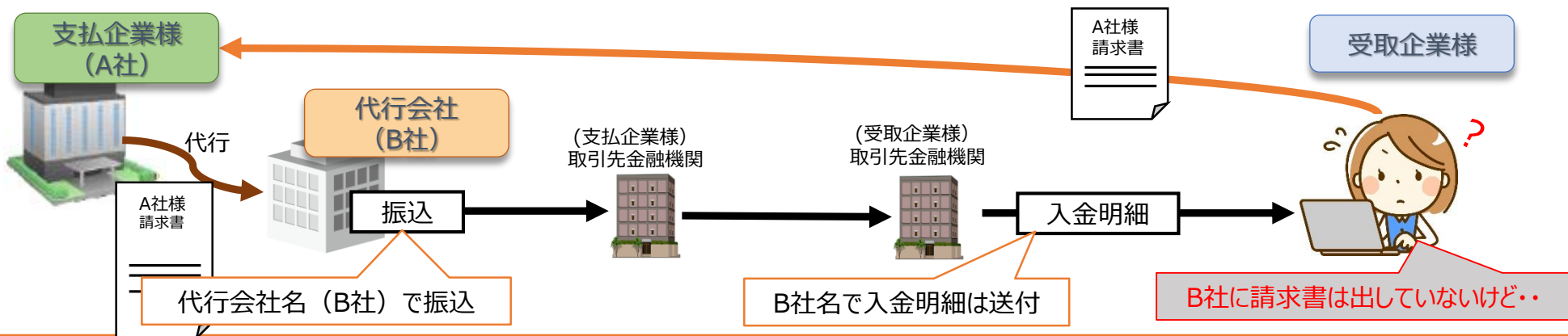
- 備考欄に、一部支払いの旨を入力してもらうことで、どの請求書の一部払いかがわかります。



例④ 請求書の宛先と支払人が一致しない場合の請求先企業名を知りたい

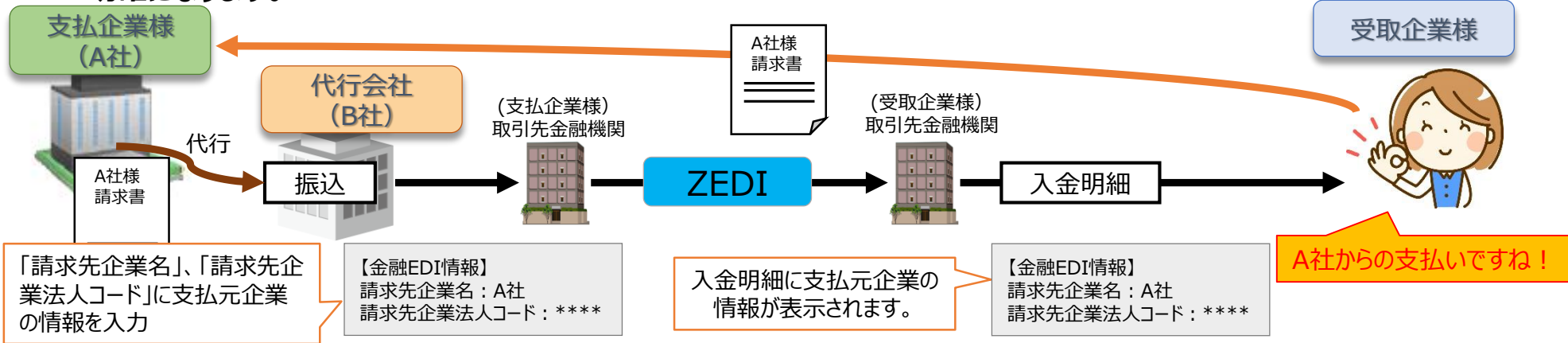
受取企業様のお困りごと

- 代行会社等による振込みにより、請求書の宛先と支払人が一致しない。



S-ZEDI活用による解消例

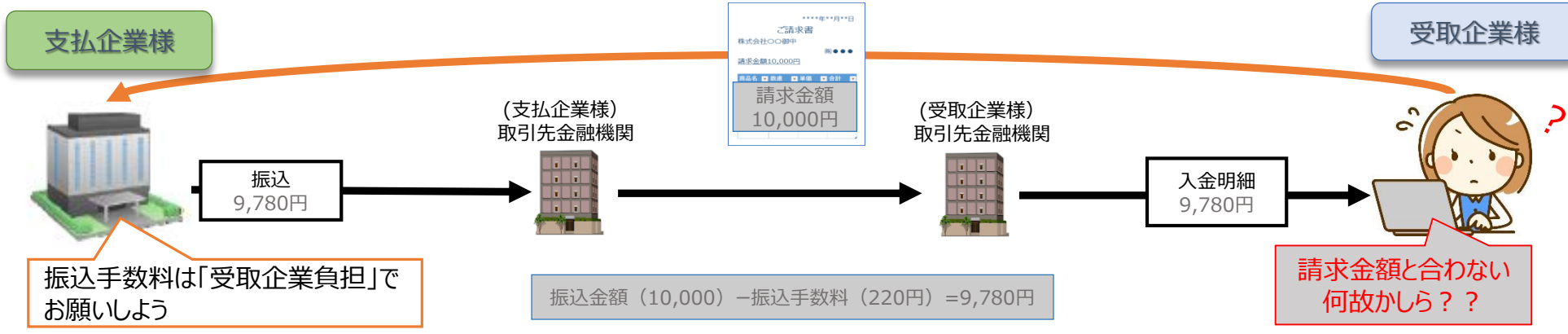
- S-ZEDIの項目「請求先企業名」、「請求先企業法人コード」へ請求先企業情報を入力してもらうことで、支払元企業が明確になります。



例⑤ 請求書の金額と振込・入金された金額の差異が振込手数料であることを知りたい

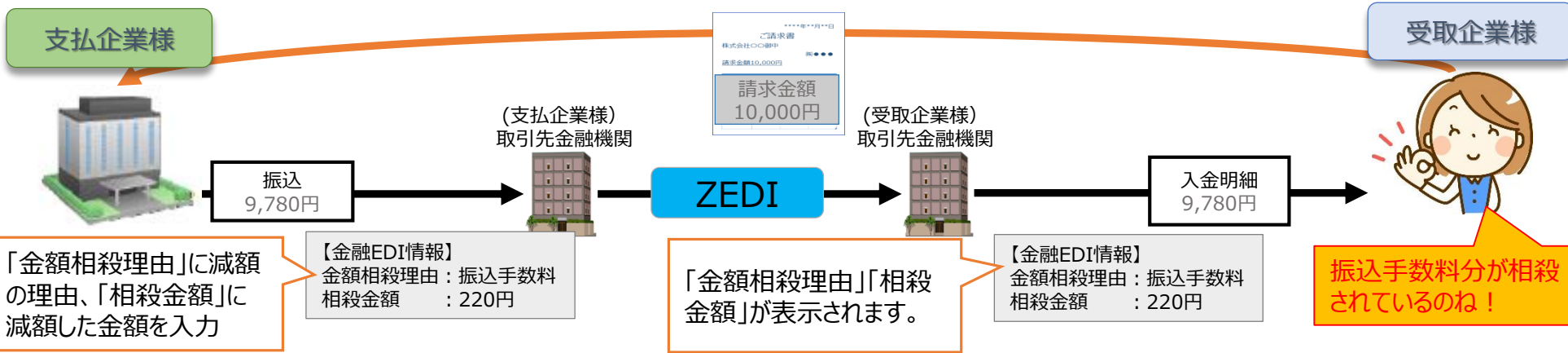
受取企業様のお困りごと

- 振込手数料が請求金額から差し引かれ、請求書の金額と振込金額が合致しない。



S-ZEDI活用による解消例

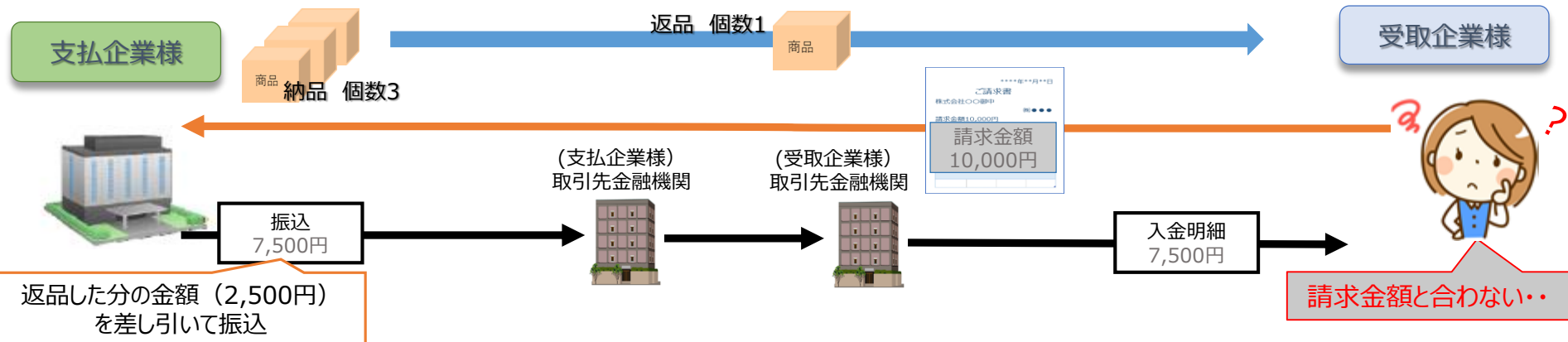
- S-ZEDIの「金額相殺理由」、「相殺金額」を入力してもらうことで、振込手数料としていくら引かれているかがわかります。



例⑥ 請求書の金額から減額された振込・入金理由・内訳を知りたい

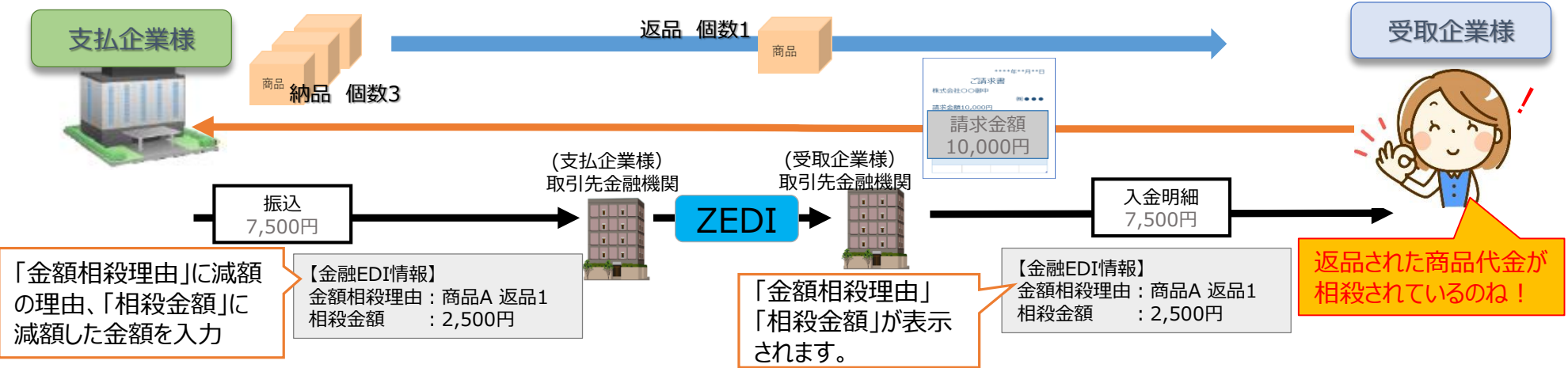
受取企業様のお困りごと

- 請求書発行後に返品等により、減額した金額で振り込まれ請求書の金額と合致しない。



S-ZEDI活用による解消例

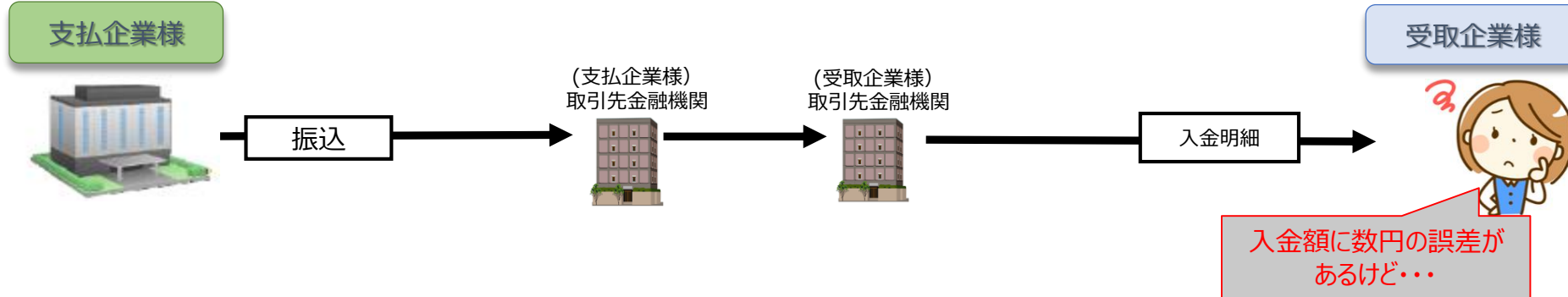
- S-ZEDIの「金額相殺理由」、「相殺金額」を入力してもらうことで、返品による減額の内容がわかります。



例⑦ 複数税率が混在する場合の税額の内訳を知りたい

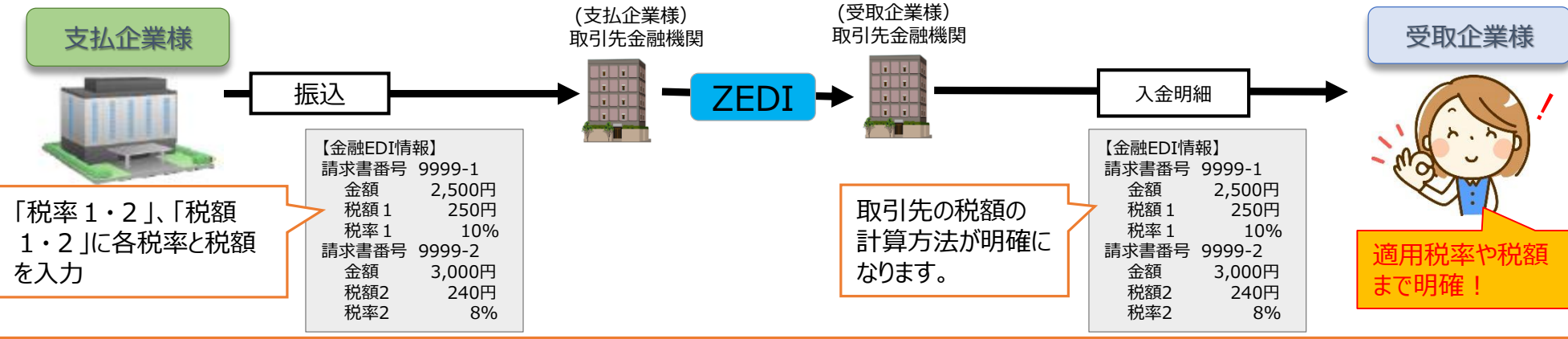
受取企業様のお困りごと

- 複数税率（軽減税率）等の対応により支払企業・受取企業双方で消費税額の計算方法・認識が合っておらず、消込金額が一致しない。



S-ZEDI活用による解消例

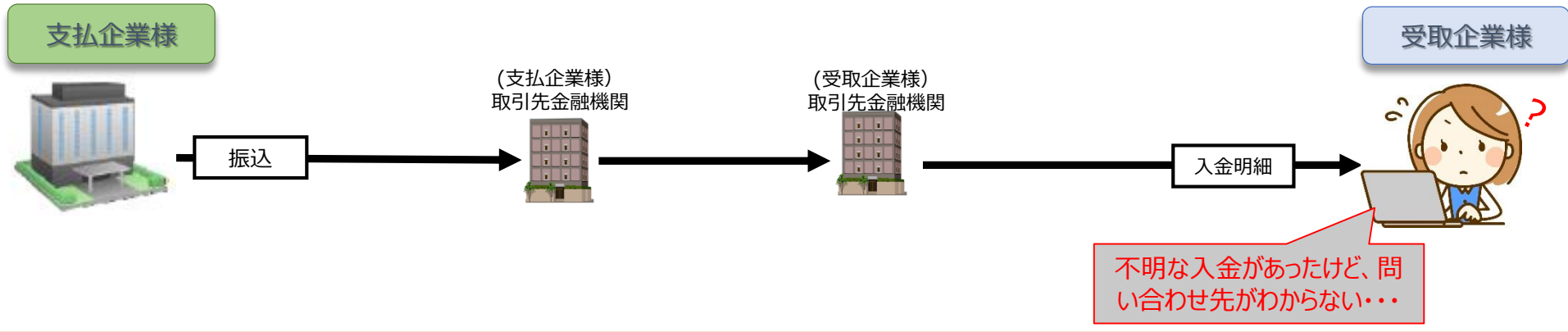
- S-ZEDIの「税率1・2」、「税額1・2」に各税率と税額を入力してもらうことで、消費税額の計算方法や税額がわかります。



例⑧ 支払元の間合せ先を知りたい

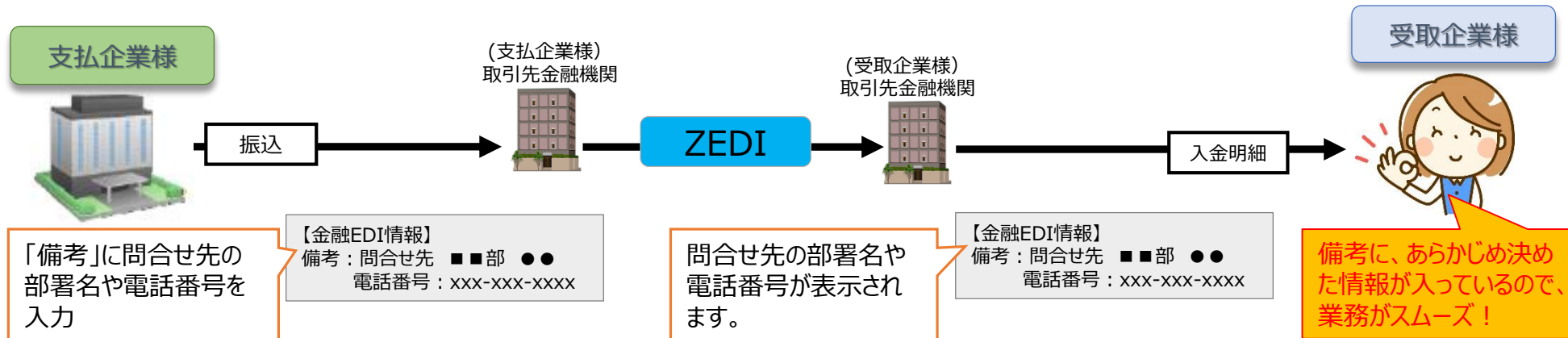
受取企業様のお困りごと

- 振り込まれた金額（入金明細）について取引先に照会したいが、問合せ先の部署や連絡先がわからない。



S-ZEDI活用による解消例

- S-ZEDIの「備考」に、部署名、担当者名、連絡先等を入力してもらうことで、その後の照会も容易になります。



(ご参考) S-ZEDI18項目と解消例のマッピング



S-ZEDI項目に入力することで、解消するお困りごと例

項番	項目	解消例	項番	項目	対応解消例
1	業界区分		11	金額相殺理由	⑤、⑥
2	データ区分		12	相殺金額	⑤、⑥
3	支払通知番号		13	税額 1	⑦
4	支払通知発行日		14	税率 1	⑦
5	請求書番号	①、③-1	15	税額 2	⑦
6	支払人企業法人コード		16	税率 2	⑦
7	受取人企業法人コード		17	税額 (合計)	⑦
8	請求先企業名	④	18	備考	②、③-2
9	請求先企業法人コード	④			⑧
10	支払金額 (明細)				

4. S-ZEDI利用に向けた留意事項

- ◆ 金融EDI情報をご活用いただくためには、ZEDIに対応したFB/IBサービス※をご利用いただく必要があります。
ZEDI対応サービスについては、お取引先金融機関にお問い合わせ下さい。
※FB：ファームバンキング、IB：インターネットバンキング
- ◆ 入金明細への金融EDI情報の設定は、支払企業様に実施（振込電文に添付）いただく必要があるため、お取引先企業様と事前にご調整いただく必要があります。
- ◆ ZEDIをご利用いただく場合、入金明細はXML形式のデータとなります。
XMLデータを簡易に確認可能な製品・サービスもございますので、お取引のソフトウェア会社などにお問い合わせ下さい。

ZEDIに関するウェブページ：

全銀協 <https://www.zenginkyo.or.jp/abstract/efforts/smooth/xml/>

全銀ネット※ <https://www.zengin-net.jp/zedi/>

※ZEDI接続ガイドンスやS-ZEDI利用ガイドを掲載しておりますので、ご参照ください。

(ご参考) 金融EDI情報として格納すべき商流情報の整理について

金融EDI情報に設定する項目につきましては、経済産業省 中小企業庁の研究会「金融EDIにおける商流情報等のあり方検討会議」において、金融EDI情報として格納すべき商流情報として項目の整理がなされております。

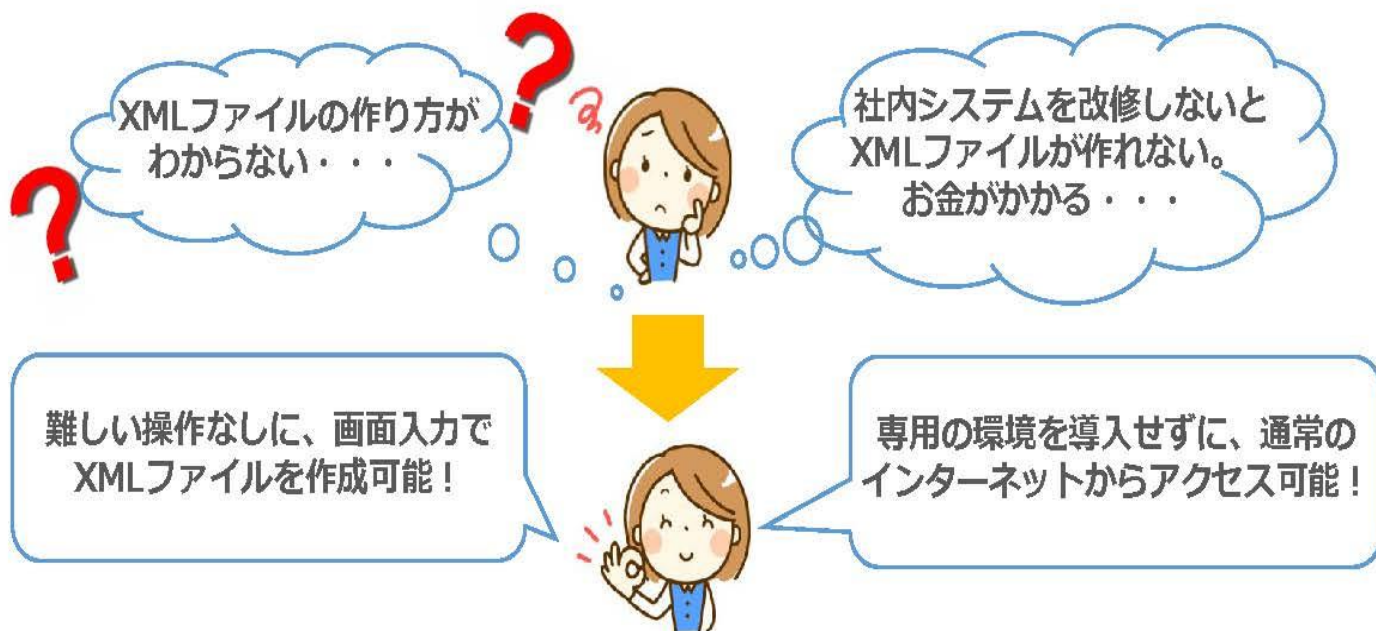
管理上利用する項目	最低限必要な項目	IT化推進による事務合理化に必要と思われる項目	利用可能とすべき項目	
業界区分	支払通知番号 ※1	受取人企業法人コード	支払番号	製品名
データ区分	支払通知発行日 ※1	請求先企業名	受取人企業連絡先電話番号	支払内容
	請求書番号 ※2	請求先企業法人コード	支払人企業連絡先電話番号	契約名
	支払人企業法人コード ※3	支払金額 (明細)	請求先連絡担当者	締日
		税額	請求先連絡先部門	入金予定日
		税区分	請求先電話番号	納品伝票番号
		税率	行番号	請求書発行日
			発注番号	金額相殺理由コード
			受注番号	相殺金額
			単価	受取人企業名 ※4
			数量	支払人企業名 ※4
			納入番号	支払合計金額 ※4
			納入日時	支払日時 ※4
			製品コード	

- ※1: 支払対象債務・支払日・支払金額・支払方法(振込か電債か)を通知する文書に付すもの。
 該当する文書が存在しない場合は記載せず、金融機関側で自動付番(振込みの際に使われている既存の受付番号等を利用)。
- ※2: 請求書(ないしそれに類する書類)を発行していない場合は記載不要
- ※3: 法人マイナンバーを持たない事業者(個人事業主等)については記載不要
- ※4: XML電文移行対象取引(予定)に、既に代替可能と思われる項目が存在するため、EDI情報欄への記載不要との整理が可能と考えられる項目。

【出所】経済産業省・中小企業庁 金融EDIにおける商流情報等のあり方検討会「金融EDI情報として格納すべき商流の整理について (2016年12月22日)」

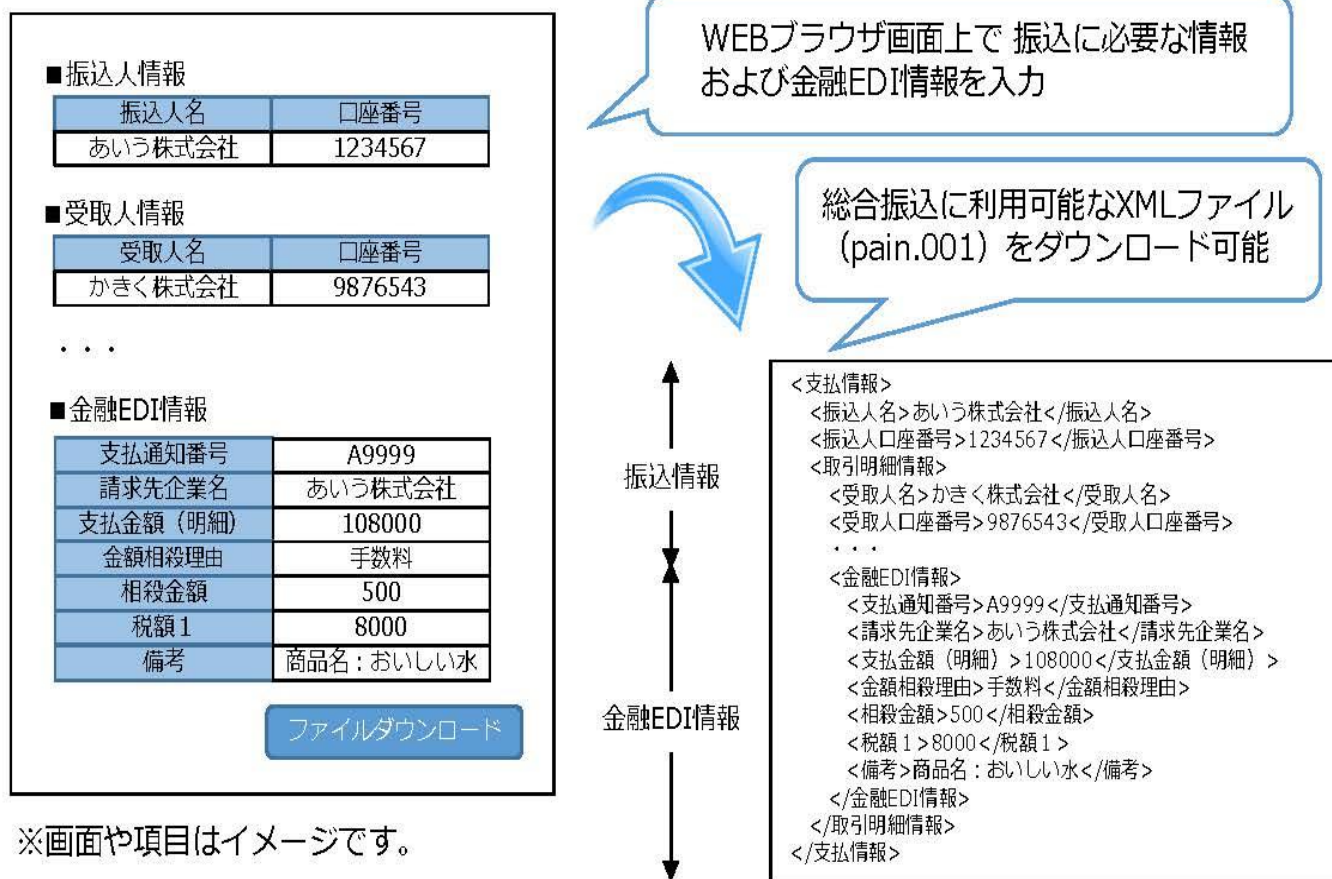
概要・目的

S-ZEDIは、WEBブラウザ上の画面入力により、金融EDI情報を添付可能な振込電文 (XMLファイル) を、簡易に作成可能とする機能です (無料)。
 専用ソフトの購入や会計システムの改修といった対応なしに、総合振込ファイル (pain.001) を作成することができ、ZEDIの導入コストを軽減します。



利用イメージ (振込電文の作成)

S-ZEDI専用サイト (取引先金融機関にお問い合わせください) にアクセスいただき、WEBブラウザ画面上での入力・操作により振込電文 (XMLファイル) を作成できます。

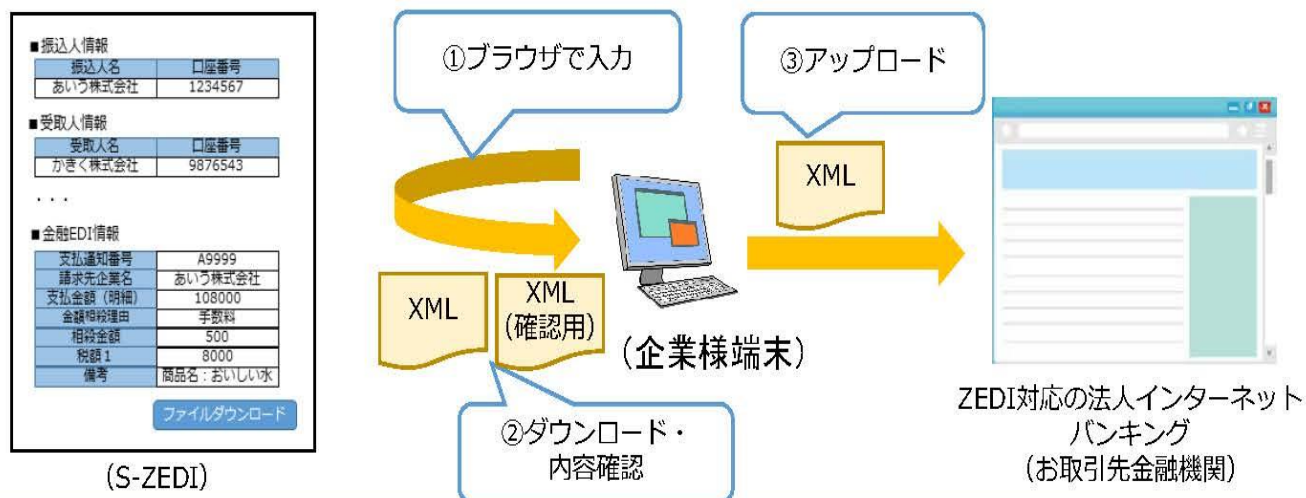


※画面や項目はイメージです。

※タグ名は日本語表記に変更しています。

ご利用イメージ（振込の実施（インターネットバンキング））

S-ZEDIで作成したXMLファイルは、そのままZEDI対応の法人インターネットバンキングにおいてご利用できます（ファームバンキングでのご利用も可能です。下記のご留意事項をご参照）。



- ①ブラウザ上で振込に必要な情報（仕向/被仕向口座情報、金額等）および金融EDI情報（下記「登録可能な金融EDI情報項目」参照）を入力します。
- ②XMLファイル（pain.001）をダウンロードします。確認用ファイルもダウンロードできるので、アップロード前に入力した情報を確認することが可能です。
- ③ダウンロードしたXMLファイル（pain.001）をZEDI対応の法人インターネットバンキングへアップロードすることで総合振込が実施できます。

登録可能な金融EDI情報項目

本機能では、以下の18項目を金融EDI情報として登録可能です（最大10回繰り返し可能）。

項番	項目名	項番	項目名
1	業界区分	11	金額相殺理由
2	データ区分	12	相殺金額
3	支払通知番号	13	税額 1
4	支払通知発行日	14	税率 1
5	請求書番号	15	税額 2
6	支払人企業法人コード	16	税率 2
7	受取人企業法人コード	17	税額（合計）
8	請求先企業名	18	備考
9	請求先企業法人コード		
10	支払金額（明細）		

ご利用にあたってのご留意事項

- ・ **S-ZEDIでは、ID/パスワードの入力を求めることはありません。**
- ・ S-ZEDIでは、仕向銀行情報が1件のファイルのみ作成可能です。また、1ファイルあたりの取引明細は最大10件です。
- ・ 作成される振込用のXMLファイルにおいては金融EDI情報欄が暗号化されます。XMLファイル作成後の内容確認が必要な場合は確認用ファイルをダウンロードして下さい。
- ・ ファームバンキングでのご利用をお考えの場合には、専用の通信ソフト等が必要となりますので、ご利用の金融機関へご相談ください。
- ・ 推奨環境は以下のとおりとなります。（2018年4月時点）

OS製品	ウェブブラウザ
Windows 7	Internet Explorer 11、Firefox
Windows 8.1	Internet Explorer 11、Firefox
Windows 10	Internet Explorer 11、Microsoft Edge、Firefox

導入の流れ



よくあるご質問

1 導入検討・社内決定

- 業務コストの確認
経理業務に費やしている業務時間や人件費などの費用
- 導入費用の確認
ZEDI (金融EDI) 利用に必要なEB料金、会計ソフト・通信ソフトの対応状況またはサポートツール*の有無
*ZEDI (金融EDI) に対応したXML形式のファイルをCSV形式のファイルに変換/逆変換するツール。会計ソフトがZEDIに対応していない場合に有効です。

2 取引企業とご相談

取引企業とZEDI (金融EDI) の利用に向けて、入金確認作業に使うためのキー情報を何にするのかを決めます (注文書や請求書の番号、相殺の取扱いなど)。
→S-ZEDIなどの金融EDI情報標準のご利用をご検討ください。

3 EBの導入・会計ソフトとの連携確認

ZEDI (金融EDI) に対応したEBを導入ください。
ZEDIに対応した振込電文の作成やZEDIで送信された振込入金通知/入出金取引明細の読み込みなど、会計ソフトと連携する方法を確認ください。
→詳しくは、取引金融機関にご確認ください。

4 取引企業へご連絡

- 受取企業へ連絡
ZEDI (金融EDI) に対応した振込を開始することを連絡
- 支払企業へ連絡
ZEDI (金融EDI) に対応した振込を希望することを連絡

無料で
お試し!

支払企業としてZEDIをご利用いただく
場合には、S-ZEDIが便利です!

S-ZEDIの利用を希望する場合には、取引金融機関にお問い合わせください

Q 取引企業が金融EDIに対応していない場合は
どうなりますか?

A 支払企業は、受取企業が金融EDIに対応していなくても、ZEDIで振込が可能です。ただし、売掛金の入金確認作業を効率化するためには、支払企業がZEDIで振込を行うとともに、受取企業も金融EDIに対応している必要があります。

Q 取引企業に入金確認作業に使うためのキー情報を相談したところ、よくわからないと言われました。
どうすればよいでしょうか。

A 売掛金の入金確認作業に利用いただくためにS-ZEDIという標準的な情報フォーマット (金融EDI情報標準) を用意しています。S-ZEDIの利用を提案することで、取引企業との相談を円滑に進めやすくなります。S-ZEDIの詳細やその他の「金融EDI情報標準」については、全銀ネットワークウェブサイトをご確認ください。

Q 金融EDIの活用方法は他にありますか?

A グループ企業間の資金繰り管理への活用や、2023年10月に導入予定のインボイス制度への対応に有効だと期待されています。その他のユースケースなどの最新情報は、全銀協ウェブサイトをご覧ください。

? お問い合わせ先

利用できる金融機関や金融EDI情報標準
<https://www.zengin-net.jp/zedi/>

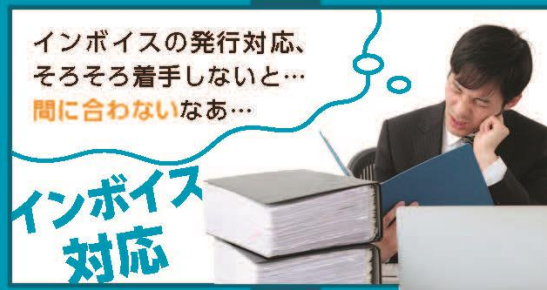


最新情報
<https://www.zenginkyo.or.jp/abstract/efforts/smooth/xml/>



金融庁 経済産業省 中小企業庁 全国銀行協会

売掛金の入金確認、大変ですよね?
経理業務の効率化



その問題、金融EDIでスマートに解決!

／ 経理業務を電子化・効率化 ／

そもそも金融EDIって何？



「金融EDI」とは、売掛金の支払・振込に当たって、振込電文に添付する請求書番号や商品名などの取引情報のこと



「ZEDI」とは、金融EDIの自由度を格段にUPさせるシステム

例えば…

ZEDIを使えば、金融EDIとして請求書番号や金額の相殺理由・相殺金額など、売掛金の入金確認作業に必要な情報を自由にたくさん添付できます。



手のかかる、売掛金の入金確認作業の効率化に効果を発揮



中小企業庁が実施した実証実験では、経理業務に費やす業務時間を約6割弱削減できる効果を確認

業務効率UP! 生産性UP!

金融EDIで
伝票の山を解消!



ZEDI (ゼディ) は、一般社団法人全国銀行資金決済ネットワークが運営する全銀EDIシステム (Zengin EDI system) の愛称です。

導入前 Before

大量の突合せ・確認作業による深夜残業…
問合せ対応で、他の仕事に手がつかない…
ミス防止のため、大勢でチェック作業…



導入後 After

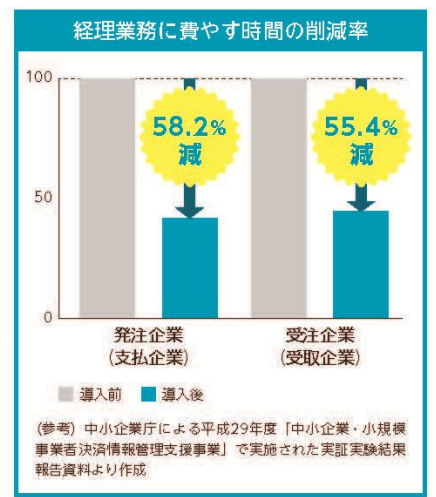
大量の突合せ・確認作業から解放!
問合せ対応から解放!
業務効率化・生産性向上を実現!



営業活動に全力投球!
働き方改革にお役立てください!

スマート
解決!

効果絶大!



◆ Society5.0の実現に向けて

ZEDIによる金融EDIの活用は、経済発展と社会的課題の解決を両立するSociety5.0の実現に向けた、政府の戦略的取組の一つです。商工会議所などの産業界、銀行などの金融界に加えて、関係省庁が連携して、金融EDIの利用促進に取り組んでいます。

■ お問い合わせ先

一般社団法人 全国銀行資金決済ネットワーク（全銀ネット）
業務部 全銀EDIグループ

メールアドレス：xml_system_info@zengin-net.jp

ウェブサイト：https://www.zengin-net.jp/zedi/

【S-ZEDI】受取企業様向け利用ガイド
2019年11月（第1.1版）